保証とアフターサービス 必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店に修理のご相談ができない場合
東芝家電修理ご相談センター
フリーダイヤル 0120-1048-41
携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

お買い物、お取り扱いのご相談
東芝家電ご相談センター
フリーダイヤル 0120-1048-86
携帯電話・PHSからのご利用は　03-3426-1048
FAX　03-3425-2101（365日：8:00〜20:00受付）

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

- この東芝クリーナーには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。** 詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります
- 部品共用化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

18ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）　ー

長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。

- スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。
- 電源コードを動かすと運転が止まるときがある。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝クリーナー（家庭用）取扱説明書

形名
VC-100XP

もくじ

- このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

安全上のご注意 必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠ 警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。
⚠ 注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止
⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示
●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意
△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

分解禁止
絶対に改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁止
電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

100V・15A以上
電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。

接触禁止
床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面や、本体の排気口付近には触れない
手など、けが・やけどの原因になります。特に小さなお子さまにご注意ください。
禁止
灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
火災の原因になります。

水場での使用禁止
水まわりや風呂場での使用は絶対にしない
感電の原因になります。
禁止
ふたが開いているとき、ふたを持って本体を持ち上げない
本体の変形および、けがの原因になります。

禁止
電源コードは黄マーク以上引き出さない
電源コードを傷つけない（無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、たばねない、加工しない、重い物をのせない、挟み込まない）
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

プラグを抜く
ゴミ捨てやお手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
感電・けがの原因になります。

禁止
電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
電源コードの損傷により、火災・感電の原因になります。

水洗い禁止
本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

ほこりをとる
電源プラグとコンセントのほこりなどはプラグを抜き、定期的に乾いた布で拭きとる
感電・発熱による火災の原因になります。

根元まで差し込む
電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電・発熱による火災の原因になります。

接触禁止
本体内部のギアには触れない
手など、けがの原因になります。特に小さなお子さまにご注意ください。

⚠ 注意

プラグを持つ
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
プラグの刃が変形したり、電源コードが断線して感電・ショート・過熱により発火の原因になります。

禁止
吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。
プラグを持つ
電源コードを巻き取るときは電源プラグを持って行う
電源プラグがあたってけがの原因になります。

プラグを抜く
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁止
排気口をふさがない
火災の原因になります。
火気禁止
火気に近づけない
本体や電源コード等の変形によるショート・発火の原因になります。

まっすぐ引く
電源コードは、まっすぐ引き出す
電源コードを上に引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部と電源コードがこすれて破損し、感電・発火の原因になります。
禁止
引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
爆発・火災の原因になります。

禁止
本体のホース差込口、ホース、伸縮延長管の接点にピンや金属類などを入れない
感電・破壊の原因になります。

禁止
ホースを持って本体を持ち上げない
本体・ホースの破損や本体が落下して床の傷つきの原因になります。

禁止
本体に乗らない
本体・ホースの破損、けがの原因になります。特に小さなお子さまにご注意ください。
お願い

このクリーナーは家庭用です
- 業務用には使用しない。
- 掃除目的以外には使用しない。

つぎのものは吸わせない
- ■水などの液体や湿ったゴミ。
- ■ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの。
- ■多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目づまりするもの。
- ■食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの。
- ●**フィルターの目づまりや異臭の発生、本体の故障、ダストカップの傷つきの原因になります。**

ホース、伸縮延長管の先端で直接お掃除しない
- 床が傷ついたり、故障の原因になります。

破れたり、傷ついたホースを使わない
- 感電の原因になります。

掃除するときは電源コードを十分に引き出す
- 電源コードを無理に引っ張ると、損傷する原因になります。

床ブラシ・ワンタッチどこでもブラシ・ワンタッチ手元ブラシを床に強く押しつけたり、本体を急激に引っ張ったり、壁、家具などに強くあてない
- 床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、力を入れずに片手で軽くすべらせてください。伸縮延長管に手をそえると伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わることがあります。
- 杉や檜などのやわらかく傷つきやすい木床や、床用ワックス・つや出し床用洗剤をご使用の場合、床にこすり傷が発生することがあります。傷が気になる場合は本体のハンドルを持って掃除することをお奨めします。
  また、床ブラシは別売品のソフトフロアブラシのご使用をお奨めします。
- 砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布に付着している砂ゴミは取りのぞいてください。
- 床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがあります。お手入れの都度、点検してください。

本体を立てた状態やちょいとスタンド状態、また持ち運んでいるときに、ふたクランプを押して、ふたを開けない
- ふたで床を傷つけたり、延長管が倒れることがあります。また、ダストカップが落ちて、破損する原因になります。

各部のなまえとはたらき

グリップ

グリップフック

手元スイッチ 8ページ

はずすときはボタンを押しながら

すき間ノズル 11ページ
「弱」でご使用ください。8ページ

接点

ワンタッチ手元ブラシ 11ページ
「強」または「弱」をご使用ください。8ページ

カチッ

調節ボタン

●調節ボタンを押しながら長さを調節してください。
●長さ調節時や使用時に「シャカシャカ」と音がすることがありますが、内部部品の振動音で故障ではありません。

お願い

運転中に吸込口をふさいで、調節ボタンを押さないでください。
急に縮んでけがをすることがあります。

調節ボタン

伸縮延長管

調節ボタン

ホースフック 7ページ

接点

スタンドストッパー 7ページ

カチッ

差込口フック 7ページ

ワンタッチどこでもブラシ 10ページ
「強」または「弱」をご使用ください。8ページ

接点

カチッ

けが注意ラベル

床ブラシ 11ページ

ワンタッチどこでもブラシ

床ブラシからはずすとブラシ毛がくるっと前に出てきます。10ページ

使用する時は確実にはめ込んでください。

カチッ

使用しない時は回転させて収納してください。

カチッ

フィルターサイン

フィルターお手入れロボの目づまりを「フィルターサイン」が点滅でお知らせします。

フィルターサインの確認方法

（手元スイッチを「エコ自動」または「強」にして確認してください。）

フィルターサインの点滅を確認したい場合は、ホース先端を約10秒間密閉してください。
このときにフィルターサインが点滅すれば正常に機能しています。

フィルターサインが赤く点滅したらフィルターお手入れロボを、お手入れしてください。 14〜15ページ

お願い

延長コードを使用したり、他の家電製品と同一のコンセントでお使いになると電源電圧の低下により、フィルターサインが早く点滅する場合があります。定格15A以上の単独コンセントで使用ください。

本体内部

（つづく）

各部のなまえとはたらき（つづき）

お知らせサイン　本体の状態を「お知らせサイン」と「アラーム音」でお知らせします。

電源プラグをコンセントに差し込みます。

お知らせサイン

セット完了

ダストカップ・プリーツフィルターが正しくセットされていません。

緑点滅　お知らせサイン

ピ～ピ～

ダストカップ

プリーツフィルター

●ふたを開いて、ダストカップ・プリーツフィルターを正しくセットしてください。 12～15ページ

※ふたを開くとダストカップが自動で上がります。ふたを閉めるときはダストカップを取り出していなくてもカチッと音がするまで本体にはめ込んでください。

ピロリン ピロリン

正常状態

本体の保護装置がはたらきました。モーターが熱くなっています。

ピッピッ

お知らせサイン

緑点滅

●ダストカップ、フィルターお手入れロボ、ホース、伸縮延長管、床ブラシを確認し、ゴミがつまっている場合は、取りのぞいてください。 4～5ページ 12～15ページ

●ネットにゴミが付着している場合は、ティッシュなどで取りのぞいてください。 12～15ページ

●ダストカップを点検し、ゴミでいっぱいになっていたら、ゴミを捨ててください。 12ページ

※アラーム音は「切」を押すと止めることができます。

ギアにゴミが入り込んでいます。

ピ～ピ～

ギア

●ギアに入り込んだゴミを取りのぞいてください。

※必ず、電源プラグをコンセントから抜いてから、おこなってください。

お知らせサイン

緑点滅

お掃除開始

手元スイッチを押す

プリーツフィルターが約1秒回転します。

お知らせサイン

強または弱のときは

緑点灯

エコ自動のときは

緑点滅

お掃除を始めることができます。

お掃除終了

手元スイッチを切る

切

吸い込みが弱くなっています。

ピ～ピ～

お知らせサイン

緑点滅

●プリーツフィルターのお手入れをおこなってください。 14～15ページ

●ホース・延長管・床ブラシにゴミがつまっていないか確認してください。

ピロリン ピロリン

お知らせサイン

緑点滅

エアー洗浄を開始します。

※エアー洗浄時、プリーツフィルターの回転と同時にプリーツフィルターにエアーを送るため、モーターも運転します。

※プリーツフィルターの目づまり具合及びダストカップのゴミのたまり具合により、エアー洗浄の時間が異なります。

※エアー洗浄を止めたいときは、「切」を押すと止めることができます。

点滅が終了してから電源プラグをコンセントから抜きます。

ダストカップにゴミがたまっています。

ピピピピッ ピピピピッ

ダストカップ

お知らせサイン

緑点滅

●ゴミを捨ててください。 12ページ

※ゴミを捨てないと保護装置がはたらき、本体が運転しません。

収納のしかた

お掃除の前に

お掃除終了後はお知らせサインの点滅が終了してから電源プラグをコンセントから抜いてください。

①電源プラグを持ち、ハンドル兼用電源コード巻取りボタンを押しながら電源コードを巻き取る。

②巻き取れない場合は、電源コードを1～2m引き出してふたたび巻き取る。

ハンドル兼用電源コード巻取りボタン

スタンド収納

①延長管を軽く前に倒して床ブラシをロックする

②スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

③ホースフックを伸縮延長管のフックにひっかける

ミニ収納　押し入れなど、高さの低い場所での収納

①伸縮延長管を縮める

②延長管を軽く前に倒して床ブラシをロックする

③スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

④ホースフックを伸縮延長管のフックにひっかける

お掃除のしかた

1 **電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む**
●アラーム音（ピロリン　ピロリン）がなります。

2 **ホースの手元スイッチを押す**
●約１秒、プリーツフィルターが回転します。

このボタンは強／弱、エコ自動のどちらかのボタンが押され、運転しているときのみ使用できます。

を押す

床ブラシの回転部の回転を「入/切」するとき
●床・たたみで静かにお掃除したいときは「切」にしてください。
※「切」のときはエコ自動がはたらかなくなります。
●ゴミが取りにくい場合は「入」にしてください。

ブラシ入/切を押すごとに「入⇔切」が切り替わります。

手動

を１回押す

「強」でお掃除するとき
●じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに使用します。

を２回押す

「弱」でお掃除するとき
●カーテンなど吸い付いて操作がしにくいときのお掃除に使用します。
●すき間ノズルを使ったお掃除に使用します。

強/弱を押すごとに「強⇔弱」が切り替わります。

エコ自動

エコ自動を押す

「エコ自動」でお掃除するとき
●ゴミのたまり具合に適した吸込力にコントロールします。
●移動時など床ブラシを持ち上げたとき、床ブラシをはずしたときは、吸込力を弱めます。
●ワンタッチどこでもブラシ、ワンタッチ手元ブラシを使用するときは、「強」または「弱」をご使用ください。

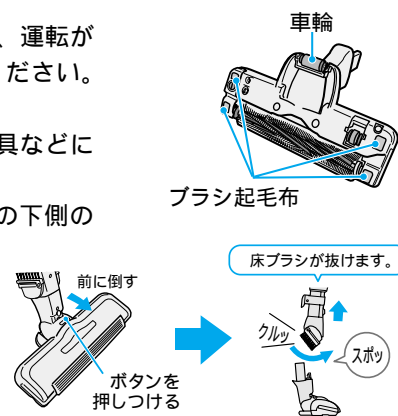
を押す

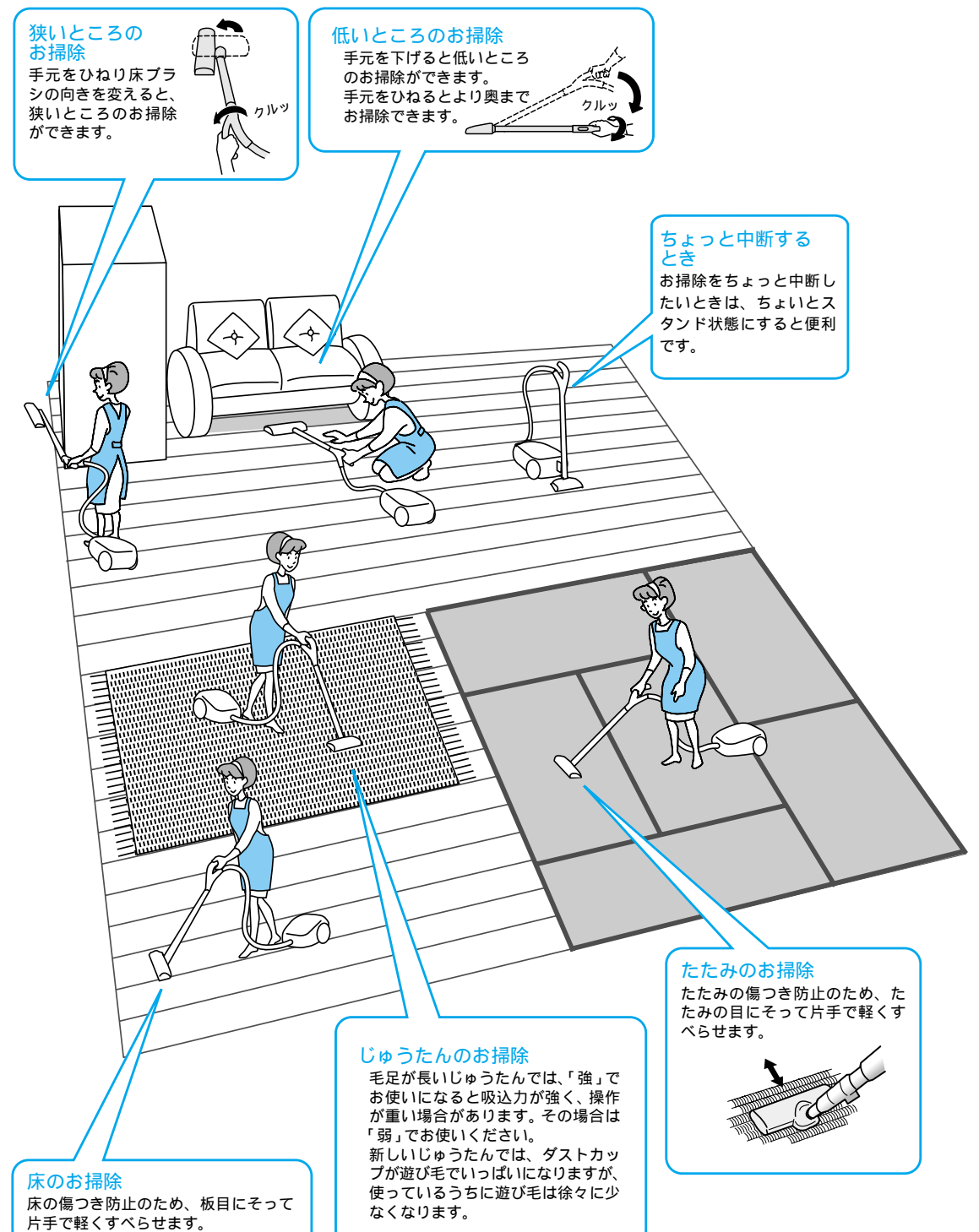
運転を止めるとき
エアー洗浄を止めるとき
●運転を止めると、自動でエアー洗浄を行ないます。その際、プリーツフィルターの回転と同時にプリーツフィルターにエアーを送るためにモーターも運転します。

を長く押す

エアー洗浄をするとき
●**運転停止時に長く押すと、約10秒間エアー洗浄をおこないます。**

お知らせ
※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費しています。
●大きなゴミなどを急激に吸いつかせた場合、**操作を軽くするため吸込力を弱めます。**

お願い
●大きなゴミを吸いつかせたまま**約3分間使用すると**、モーターの過熱を防ぐため、**運転が止まります**。このようなときは、ゴミを取りのぞき、手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。
●狭いところや低いところのお掃除をするときは,スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないよう注意してください。
●表面が固く、凹凸したコンクリート床などで使用しないでください。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると、床・たたみに傷をつけることがあります。
●延長管を前に倒しすぎて下図のようにほぼ垂直状態になると床ブラシがはずれてお掃除できません。ワンタッチどこでもブラシをお使いになるとき以外は、延長管を無理に倒さずにお掃除してください。

お掃除のコツ

●大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾ってください。
フィルターお手入れロボの分離室や床ブラシの風路につまる場合があります。

狭いところのお掃除
手元をひねり床ブラシの向きを変えると、狭いところのお掃除ができます。

低いところのお掃除
●手元を下げると低いところのお掃除ができます。
●手元をひねるとより奥までお掃除できます。

ちょっと中断するとき
お掃除をちょっと中断したいときは、ちょいとスタンド状態にすると便利です。

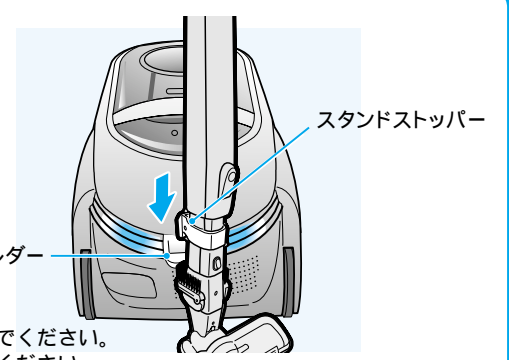
床のお掃除
床の傷つき防止のため、**板目にそって**片手で軽くすべらせます。

じゅうたんのお掃除
●毛足が長いじゅうたんでは、「強」でお使いになると吸込力が強く、操作が重い場合があります。**その場合は「弱」でお使いください。**
●新しいじゅうたんでは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っているうちに遊び毛は徐々に少なくなります。

たたみのお掃除
たたみの傷つき防止のため、**たたみの目にそって**片手で軽くすべらせます。

ちょいとスタンドの使いかた

本体を押え、スタンドストッパーを**ちょいとホルダー**に合わせて真上から奥まで確実に差し込む
※ちょいとスタンドを使用するときは、運転を止めてください。
※ちょいとスタンド状態では、ふたは開きません。

スタンドストッパー
ちょいとホルダー

お願い
ちょいとスタンド状態で持ち運んだり、無理にふたを開けないでください。
長時間放置する場合は、ミニ収納やスタンド収納の状態にしてください。

付属品の使いかた

標準付属品

床ブラシ・ワンタッチどこでもブラシ付（1個）
（自走ブラッシングヘッド）

ホース（1本）
ワンタッチ手元ブラシ付
ホースフック付

伸縮延長管
（1本）

応用付属品

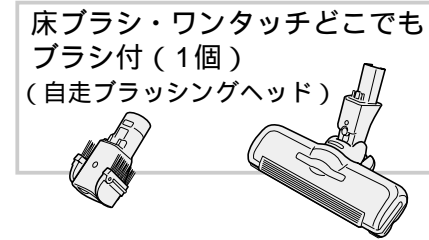
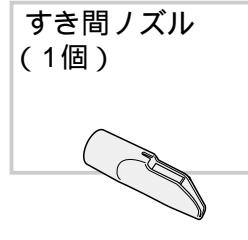
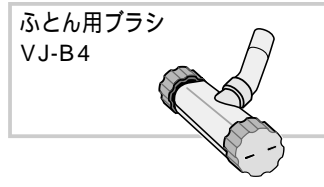
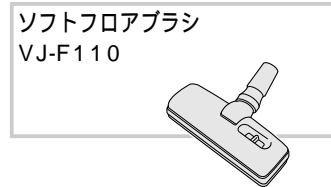
すき間ノズル
（1個）

別売品

フリーアングルブラシ付
3段伸縮すき間ノズル
VJ-N2

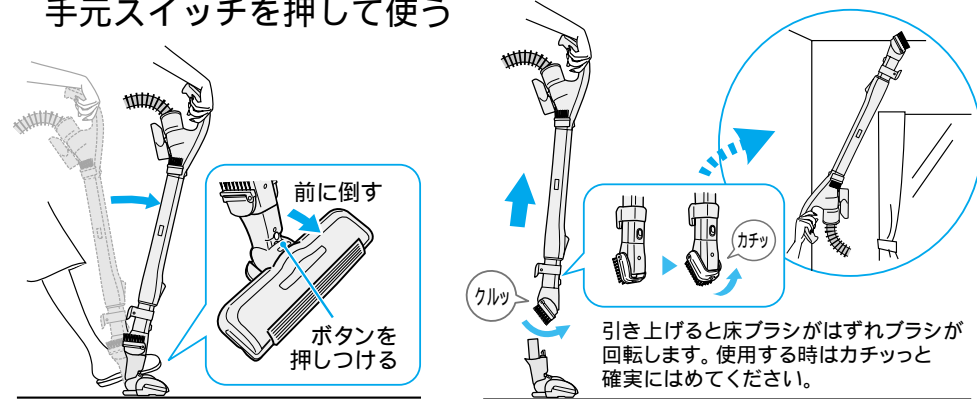
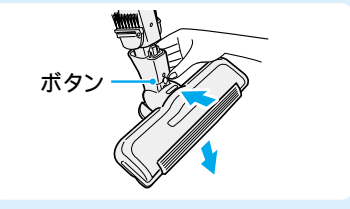
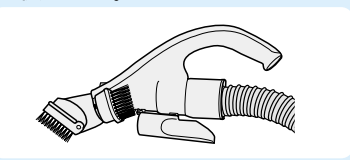
丸ブラシ（馬毛製）
VJ-M2U

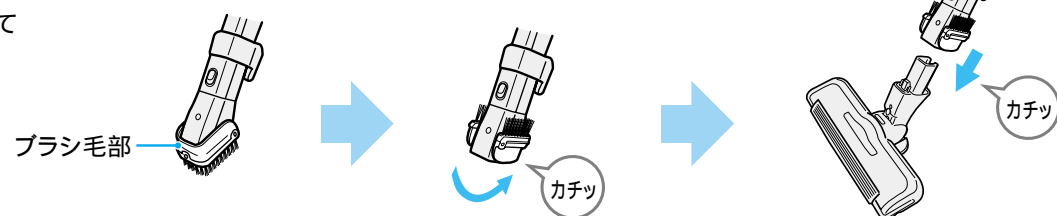
ソフトフロアブラシ
VJ-F110

ふとん用ブラシ
VJ-B4

●すき間ノズルは11ページを参照して取り付けてください。
●別売品はお近くの東芝商品販売店でお買い求めできます。

ワンタッチどこでもブラシの使いかた

①（切）を押して運転を止め、床ブラシを足で軽く押さえて、伸縮延長管を前に倒す
②そのままグリップを上に引き上げ床ブラシをはずす
●床ブラシからはずすと、ブラシ毛部がくるっと前に出てきます。
③ブラシ毛部をカチッとなるまで確実にはめる
④手元スイッチを押して使う

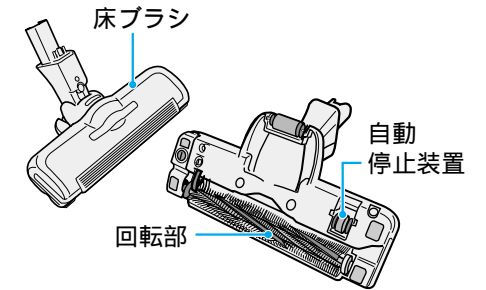
引き上げると床ブラシがはずれブラシが回転します。使用する時はカチッと確実にはめてください。

●床ブラシは、ボタンを押して手ではずすこともできます。

●ワンタッチどこでもブラシは、ホースの先端に差し込んでも使えます。

床ブラシにセットするとき

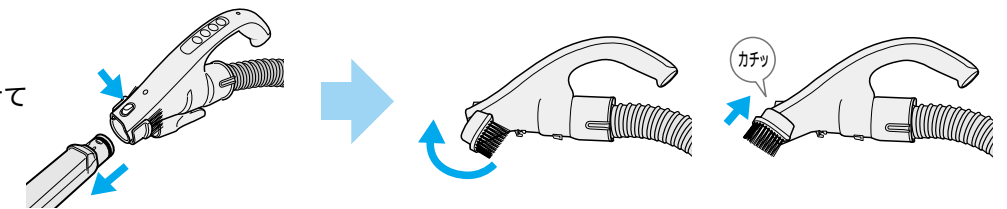
①ブラシ毛部を回転させて
②床ブラシにセットする

お願い
●運転中は、床ブラシの着脱をしないでください。
●無理に延長管を前に倒さないでください。故障の原因になります。
●接続管（ブラシ毛部はのぞく）は水洗いしないでください。17ページ
●床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。

床ブラシについて

⚠警告 **床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面や、本体の排気口付近には触れない**
手など、けが・やけどの原因になります。特に小さなお子さまにご注意ください。

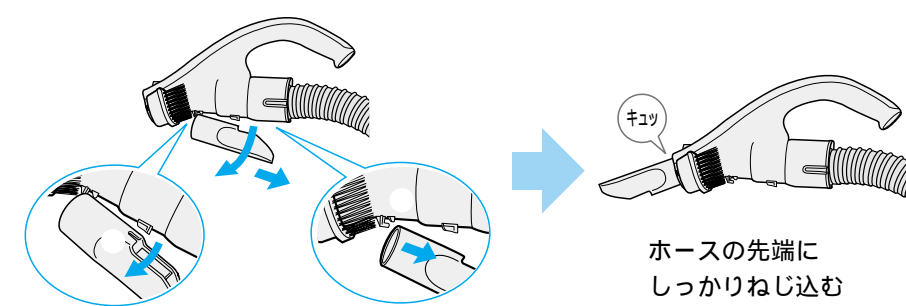
この床ブラシには、自動停止装置がついており、床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと安全のため回転部が止まります。

●床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
●床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まることがあります。
●ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まることがあります。このようなときは、（切）を押し、運転を止め再び（強/弱）を押してお使いください。

ワンタッチ手元ブラシの使いかた

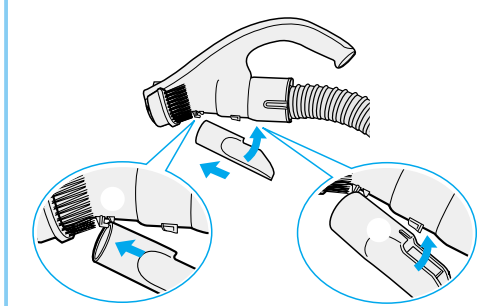
①伸縮延長管をはずす
（ボタンを押しながらはずす）
②ワンタッチ手元ブラシを回転させてホースの先端にしっかりはめる
③手元スイッチを押して使う

お願い
●床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。

すき間ノズルの使いかた

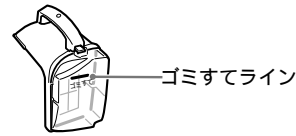
通常は、（強/弱）を2回押し、「弱」で使う
※強い吸込力でお掃除するときは、（強/弱）を1回押し、「強」でお使いください。

ホースにセットするとき

①すき間ノズルの中央部分を突起部からはずす
②スライドさせてはずす

ホースに収納するとき

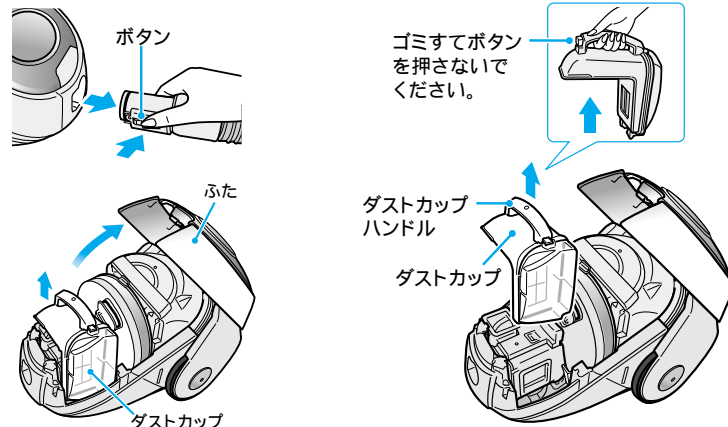
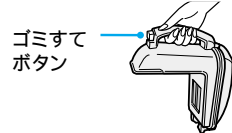
①の突起部に引っ掛けたあと
②にはめ込む

お知らせ
●**すき間ノズルは、ホースの手元スイッチ部の下側に収納できます。**
●伸縮延長管の先にもセットして使用できます。
●すき間ノズルは衝撃により収納状態でもはずれることがあります。
●「強」で使用すると、保護装置がはたらくことがあります。19ページ

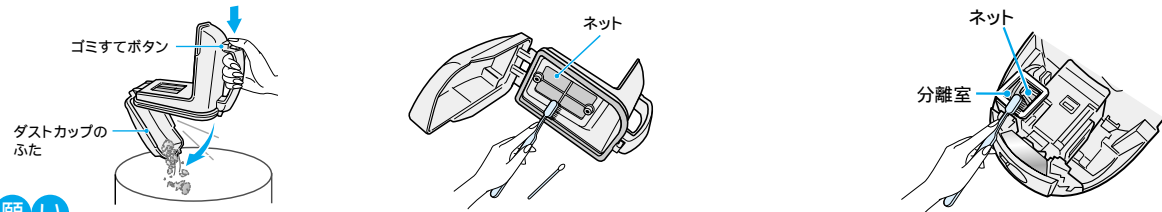
お願い
●床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。
●20分以上続けて使用しないでください。モーターに負担がかかります。
●**すき間ノズルをフックから無理にはずさないでください。フックが変形して収納できなくなります。**

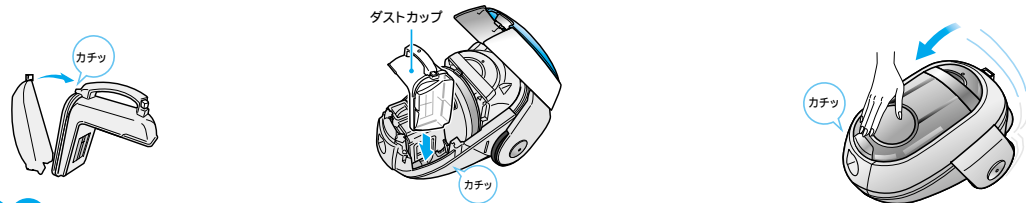
ゴミの捨てかた

吸引力を持続させるために、お掃除が終わったらこまめにゴミを捨てましょう。
ゴミすてラインを超えてゴミを吸った場合、分離室にゴミがたまり、吸引力が低下します。
誤って水などの液体や湿ったゴミを吸い込んでしまった場合、ゴミを捨てて分離室やネットに付着したゴミを取りのぞいてもフィルターサインが点滅する場合は、プリーツフィルターのお手入れをしてください。 14～15ページ

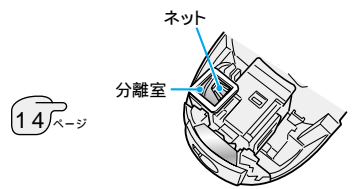
●フィルターの目づまりや異臭の発生、本体の故障の原因になります。
※ゴミを捨てる前には(切)を押して運転を止め電源プラグを抜いてください。

1 ダストカップを取り出す

①ボタンを押しながらホースをはずす
②ふたクランプを押すと、ふたが開いてダストカップが自動で上がります。
③ダストカップハンドルを持って、ダストカップを取り出す

お願い
●本体を立てた状態や、ちょいとスタンド状態でふたクランプを押さないでください。ふたで床を傷つけたり、延長管が倒れることがあります。
●本体からダストカップを取り出すときは、ゴミすてボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。

2 ダストカップを大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れる

①ゴミすてボタンを押し、中のゴミを捨てる
②ネットに付着しているゴミは、使い古しの歯ブラシや綿棒で取りのぞく
③分離室・分離室のネットにゴミが付着している場合は、使い古しの歯ブラシや綿棒で取りのぞく

お願い
●ダストカップのふたは直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミすてボタンを押してください。
●ダストカップのふたには無理な力を加えないでください。はずれることがあります。
●ゴミの量、種類によりゴミが取りのぞきにくい場合があります。その場合は、フィルターお手入れロボを取り出し、分離部のふたをはずして、取りのぞいてください。 14ページ
●分離室のネットはこまめに確認し、付着しているゴミは取りのぞいてください。そのままご使用になるとフィルターサインが点滅し、吸引力が低下します。

3 ダストカップのふたを手で戻し、カチッと音がするまではめ込み、本体にセットする

お願い
●ゴミの種類により、ゴミすてラインまでゴミがたまる前に吸込力が弱くなったり、ゴミセンサーが働くことがあります。このようなときはダストカップやフィルターお手入れロボのお手入れをしてください。 13～15ページ

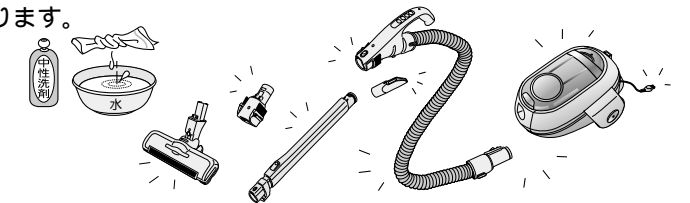
お願い
●ゴミを捨てるときに分離室のネットを確認し、ゴミが付着している場合は取りのぞいてください。そのままご使用になるとフィルターサインが点滅し、吸引力が低下します。
●分離室のネットの汚れがひどい場合は、フィルターお手入れロボを取りはずし、付着したゴミをティッシュなどで取りのぞいてください。そのままご使用になるとフィルターサインが点滅し、吸引力が低下します。 14ページ
●ゴミを捨てて分離室やネットに付着したゴミを取りのぞいてもフィルターサインが点滅する場合は、プリーツフィルターのお手入れをしてください。 14ページ

お手入れ

⚠警告
本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛部をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

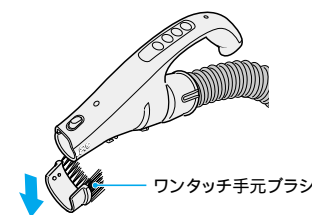
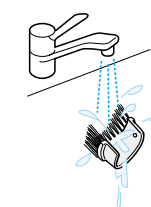
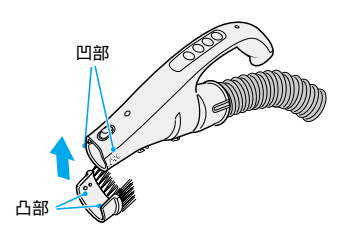
水などの液体や湿ったゴミを吸い込んでしまった場合や、通気性の悪いゴミを吸い込んでしまった場合は、フィルターお手入れロボ（プリーツフィルター・分離室）をお手入れしてください。 14～15ページ
●フィルターの目づまりや異臭の発生、本体の故障の原因になります。
※お手入れの際には(切)を押して運転を止め、電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

本体・付属品のお手入れ

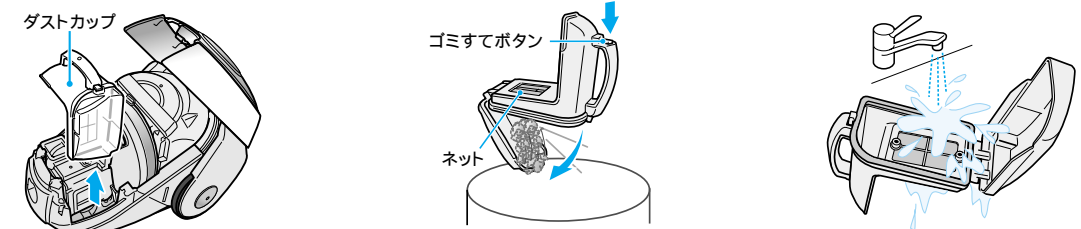
本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふく

●ベンジンなどでふくと、ひび割れ・変形・変色の原因になります。

ワンタッチ手元ブラシのお手入れ

はずして水洗いする

1 ワンタッチ手元ブラシを下に引き抜く

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

3 ホース先端の凹部とワンタッチ手元ブラシの凸部をあわせてはめる

ダストカップのお手入れ

本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててから水洗いする

ゴミすてボタンを押し、ふたをあけ、水洗いをし、十分乾燥させる

お願い
●ネットに付着したゴミが取れにくい場合には、古い歯ブラシ・綿棒などでお手入れしてください。
●ネットを毛のかたいブラシで洗ったり、強く押して洗わないでください。破損の原因になります。

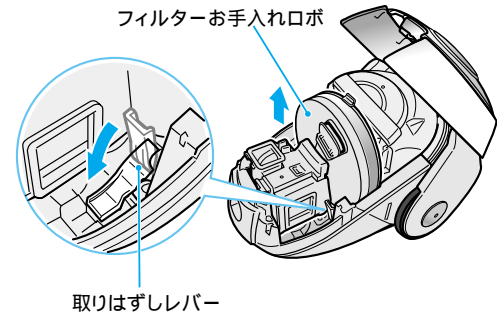
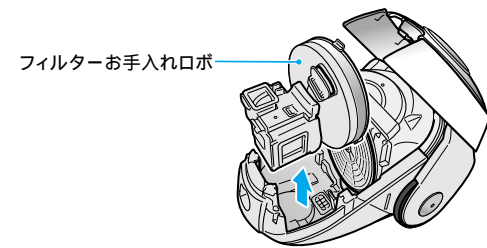
お掃除の後に

⚠警告 接触禁止
本体内部のギアには触れない
手など、けがの原因になります。特に小さなお子さまにはご注意ください。

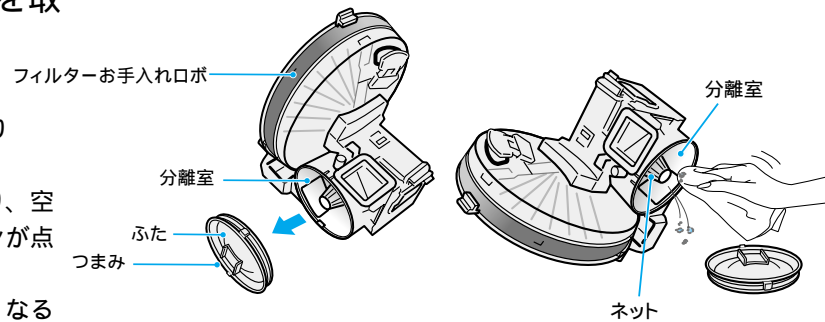
フィルターお手入れロボのお手入れ

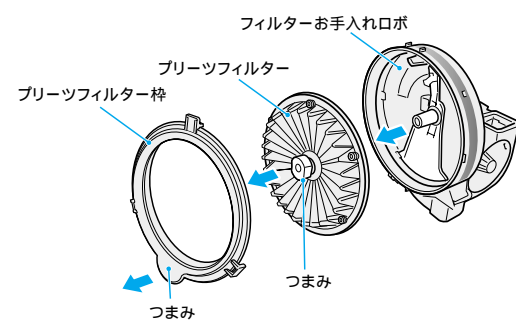
フィルターサインが点滅したら、フィルターお手入れロボをお手入れしてください。
※その際、本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててください。

1 フィルターお手入れロボの取りはずしレバーを下へ押す

- 取りはずしレバーを、下まで確実に押し込んでください。
  フィルターお手入れロボが少し持ち上がります。

2 フィルターお手入れロボを取り出す

3 分離室のふたをはずし、ネットに付着したゴミ、中にたまったゴミを取りのぞく

つまみを持ち、矢印の方向に引く
ネットについているゴミはティッシュで取りのぞく

- 分離室内に紙片や包装用フィルムがたまり、空気の流れが悪くなると、フィルターサインが点滅します。
- ネットにゴミが付着し、空気の流れが悪くなると、フィルターサインが点滅します。

4 プリーツフィルター枠、プリーツフィルターの順にはずす

つまみを持ち、矢印の方向に引き抜く

5 フィルターお手入れロボ、プリーツフィルター、プリーツフィルター枠をそれぞれ水洗いする

- 洗う前にフィルターお手入れロボのシャッターを矢印の方向にまわして開けてください。
- 容器に水をため、つけ置き洗いするとゴミが落ちやすくなります。

シャッター閉めた状態　シャッター開けた状態

プリーツフィルター
フィルターお手入れロボ
プリーツフィルター枠
ふた

お願い
- プリーツフィルターは、歯ブラシや綿棒などで洗わないでください。破損の原因になります。

6 十分に乾燥させて、フィルターお手入れロボを本体にセットする

- フィルターお手入れロボを乾燥させる際は、シャッターを開け、プリーツフィルターが入っていた面を下にしてください。

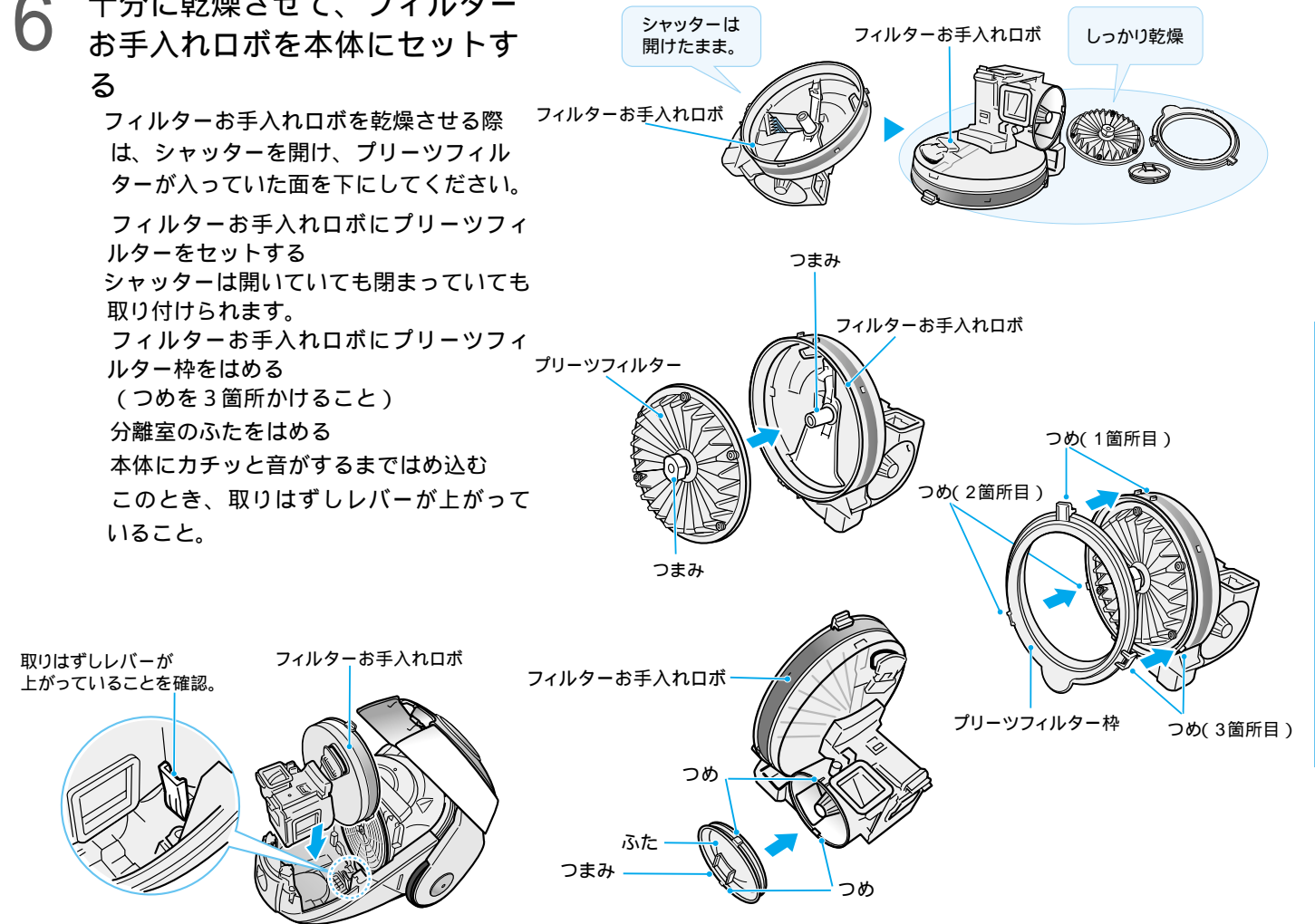
①フィルターお手入れロボにプリーツフィルターをセットする
- シャッターは開いていても閉まっていても取り付けられます。

②フィルターお手入れロボにプリーツフィルター枠をはめる
（つめを３箇所かけること）

③分離室のふたをはめる

④本体にカチッと音がするまではめ込む
このとき、取りはずしレバーが上がっていること。

取りはずしレバーが上がっていることを確認。
④
フィルターお手入れロボ

③
フィルターお手入れロボ
つめ
ふた
つまみ
つめ

お願い
- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーで乾かさないでください。
- 水洗い後、ゴミが残ったまま乾燥しますと、異臭が発生することがあります。
- お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままご使用になるとフィルターの目づまりや異臭の発生や本体の故障の原因になります。
- 乾燥時間は、風通しの良い場所で、約1日（24時間）が目安です。

（つづく）

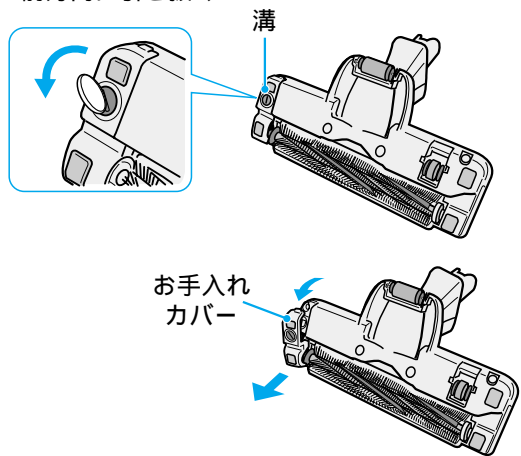
お手入れ（つづき）

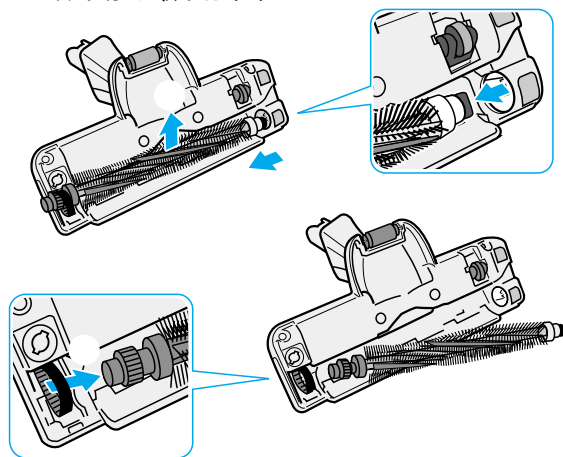
⚠警告 本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛部をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

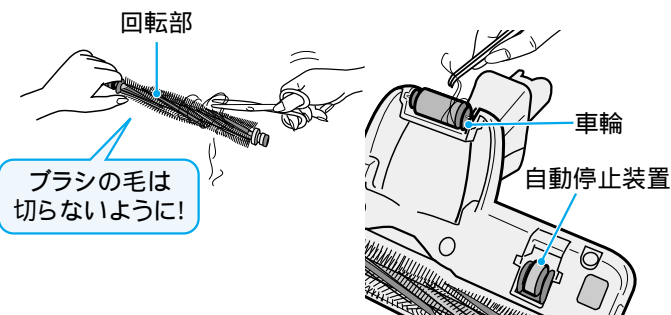
床ブラシ

お手入れは、伸縮延長管から取りはずしておこなってください。
週1～2度、お掃除の最後に点検し、回転部や車輪にゴミがからみついている場合や汚れが気になる場合はお手入れしてください。
回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

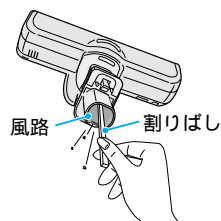
1 床ブラシを裏返し、お手入れカバーをはずす

①溝にコインを入れ、「ひらく」の位置に合わせる
②お手入れカバーの後ろ側を持ち上げる
③前方向に引き抜く

2 回転部をはずす

①回転部を持ち上げる
②矢印の方向に抜く
③ベルトから取りはずす

3 ゴミを取りのぞく

①回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで切り、取りのぞく
②自動停止装置にからみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミは、ピンセットで取りのぞく

●ゴミがたまったままお使いになると、車輪が回らず、床、たたみを傷つけることがあります。

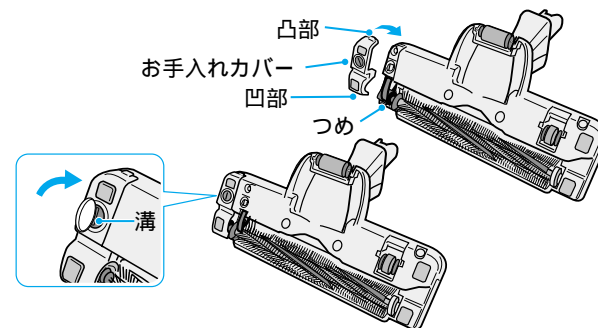
お願い

●床ブラシの風路内にゴミがたまっていると、ゴミサインが点滅する場合があります。使い古しの割りばしなどで取りのぞいてください。

4 回転部、お手入れカバーを水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる

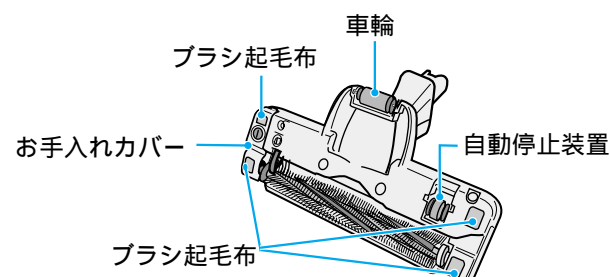
5 十分な乾燥を確認して、回転部を取り付ける

①ギアにベルトをかける
②回転部を穴に差し込む
③回転部を取り付ける

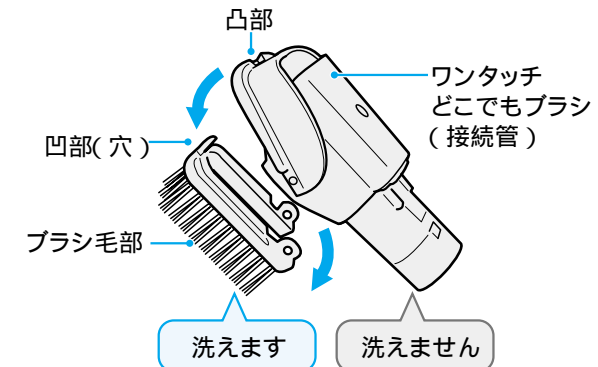
6 お手入れカバーを取り付ける

①お手入れカバーの凹部をつめにかける
②お手入れカバーの凸部を穴に入れる
③溝にコインを入れ、「しまる」の位置に合わせる

●お手入れカバーは、必ず取り付けてご使用ください。
●お手入れカバーに無理な力を加えないでください。

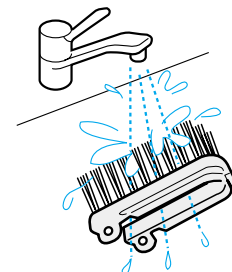
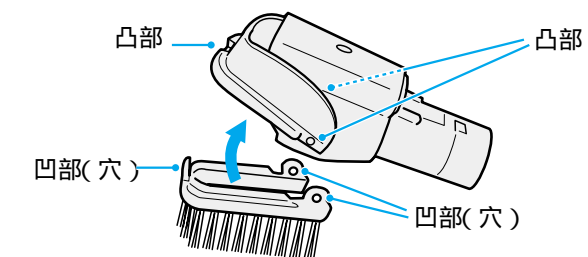
お願い

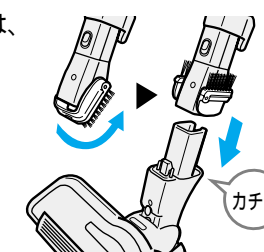
●回転部の軸受部には注油しないでください。回転不良の原因になります。
●回転部、お手入れカバー以外は水洗いしないでください。故障の原因になります。
●洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
●毛のかたいブラシで洗わないでください。
●暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。
●回転部のギアは確実にベルトに取り付けてください。ギアが入っていないと回転部は回りません。
●床ブラシ下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがありますので、お手入れの際に点検してください。摩耗しているときは、販売店にご相談ください。

ワンタッチどこでもブラシ

ブラシ毛部は、はずして水洗いできます。

1 ワンタッチどこでもブラシ（接続管）を持ち、ブラシ毛部をはずす

お願い

●ブラシ毛部をはずすときは、図のように（①、②の順）はずしてください。下側からはずすと破損することがあります。

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

3 接続管の凸部とブラシ毛部の凹部をあわせて、カチッと音がするまではめ込む

お願い

●接続管は、水洗いしないでください。
●床ブラシにセットするときは、ブラシ毛部を回してからセットしてください。

このようなときは

⚠警告	分解禁止	**改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない** 火災・感電・けがの原因になります。 修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。 20ページ

修理サービスを依頼する前に

● ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約15秒後にふたたび差し込んで動作を確認してください。
それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べるところ	直しかた	参照ページ
運転しない	● ホースが本体に差し込まれていますか。 ● ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。 ● 床ブラシにゴミが吸い付いていませんか。	→しっかり差し込んでください。 →本体の保護装置がはたらいています。 →本体の保護装置がはたらいています。	4～5 19 19
次のアラーム音が鳴る **ピ～ピ～** **ピッ、ピッ** **ピピピピッ**	● ダストカップ・プリーツフィルター・フィルターお手入れロボが付いていますか。 ● ギア部にゴミがついていませんか。 ● フィルターお手入れロボ・ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミがつまっていませんか。 ● ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。	→正しく取り付けてください。 →正しく取りのぞいてください。 →ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずして、ゴミを取りのぞいてください →ゴミを捨ててください。	12～14 6～7 4～5 12
運転音がかわる	● ゴミがいっぱいたまったままお使いになると、本体保護のため吸込力を弱める機能がはたらく場合があります。	→マイコンによる制御で異常ではありません。 こまめにゴミを捨ててください。	8､11 12
吸込力が弱い **フィルターサインが点滅している**	● ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 ● ダストカップ、プリーツフィルターの汚れがひどくありませんか。 ● ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミがつまっていませんか。 ● 水などの液体か湿ったゴミを吸い込んでいませんか。 ● 水洗い後、十分に乾燥されていますか。 ● 分離室のネットにゴミが付着していませんか。	→ゴミを捨ててください。 →お手入れしてください。 →ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。 →お手入れしてください。 →風通しの良い日かげで十分に乾燥させてください。 →取りのぞいてください。	12 13～15 4～5 13～15 15 12,14
床ブラシの回転部が回転しない	● 回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。 ● ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。 ● 大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。 ● 自動停止装置にゴミがついていませんか。 ● 回転部のギヤがベルトに入ってますか。	→取りのぞいてください。 床ブラシの保護装置がはたらいています。 →お手入れカバーを取り付け直してください。 →床ブラシの保護装置がはたらいています。 →取りのぞいてください。 →回転部を取り付け直してください。	16～17,19 16～17 19 16～17 16～17
電源コードが **巻き取れない** **引き出せない**	● 電源コードが片よって巻き取られていませんか。 ● 電源コードがからんでいませんか。	→1～2m引き出してふたたび巻き取ってください。 →電源コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2～3回くり返してください。	7 7
ホースが縮む	● 床ブラシに大きなゴミが吸いついていませんか。 ● ホース、伸縮延長管、床ブラシにゴミがつまっていませんか。	→ゴミを取りのぞいてください。 →ホース、伸縮延長管、床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。	16～17 4～5

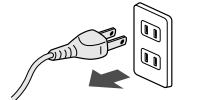
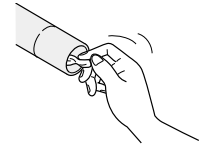
それでも異常のある場合は、20ページの保証とアフターサービスをご参照ください。

● ご使用中、本体及び電源コード、排気風が熱く感じられてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
● ゴミがたまってくると、吸込力を保つためにモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなります。また、本体温度も熱くなりますが異常ではありません。
ダストカップのゴミを捨て、フィルターお手入れロボをお手入れしてください。 13～15ページ
● ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。
● 電源プラグをコンセントに差し込むとき、火花が散る場合がありますが、故障ではありません。

保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。
次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

このようなとき	直しかた
● ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき **砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミや通気性の悪いゴミなど、吸込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。** ● ホースや伸縮延長管や床ブラシなどにゴミがつまったまま運転し続けたとき ● すき間ノズルで連続運転使用したとき ● 夏期など室温が35℃を超えるとき ● 吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき ● フィルターサインが点滅したまま使用したとき	**①手元スイッチの㋕を押し、電源プラグをコンセントから抜く** **②ゴミを捨てるか、またはホース、伸縮延長管、床ブラシなどにつまったゴミや排気口などをふさいでいる物を取りのぞく** **③涼しい場所におく** **約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。**

床ブラシの保護装置がはたらくとき

床ブラシのモーターの過熱を防ぐため、回転部（ブラシ）の回転が自動的に停止します。

このようなとき	直しかた
● 回転部（ブラシ）を回転させたまま同じ場所に放置したり、床に強く押しつけたとき ● 回転部（ブラシ）に異物を巻き込んだとき ● ホットカーペットや毛足の長いじゅうたんを使用したとき	**手元スイッチの㋕を押し、床ブラシを伸縮延長管からはずし、床ブラシに巻き込んだ異物を取りのぞきます。** 16～17ページ **約10分後、保護装置が解除され、再び使用できます。**

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	（財）日本化学繊維検査協会	統一試験法	繊維に付着	ブラシ毛
アレルゲットフィルター	（財）日本紡績検査協会	JIS Z 2801	繊維に付着	不織布
ゼオライトフィルター	（財）日本食品分析センター	JIS L 1902	繊維上で化学結合（アルミノケイ酸+銅）	不織布
プリーツフィルター	（財）日本紡績検査協会	JIS L 1902	繊維に付着	不織布

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	1000W～約160W	375 mm	270 mm	265 mm	6.8kg（ホース・伸縮延長管・床ブラシ含む）	450W～約50W	57dB～約45dB	0.4L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力1000W、吸込仕事率450W、運転音57dB
● この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。